

ひまわり

第19号

〒544-0023
大阪市生野区林寺5丁目11番24号
社会福祉法人 田島童園
児童養護施設 田島童園
TEL：(06)6731-2321
FAX：(06)6731-8502
HPアドレス：tashimadouen.org
E-mail：info@tashimadouen.org
発行：2025年1月

『ごあいさつ』

平素より、田島童園の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。日に日に肌寒くなってまいりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

田島童園では、令和6年4月に地域小規模児童養護施設「美雲」を開設いたしました。新しい環境での生活に戸惑いと楽しみを持ちながら、日々子どもたちは元気に暮らしています。本館から離れ、地域に見守られながら暮らすということは、子どもたちにとっても大切な経験になることを願っています。

また、田島童園では、ショートステイ事業も行っております。コロナ禍では十分な受け入れをすることは出来ませんでした。これからも地域支援の充実を図ってまいります。

美雲ホーム開設、ショートステイ事業も含めて、今後も地域の皆様に愛される田島童園を目指して職員一同尽力してまいります。(前田)

田島童園 施設長 前田 陽介

「こどもミーティング」報告 「ホーム名決めて委員会」

4月より新しく地域小規模ホームが増えた為、ホーム名を決める為に委員会を立ち上げました。子ども5人とおとな3人で集まり「どんなコンセプトにしようか」「今までは



自然に関するものだから今回も自然に関する名前にし

ないか」などたくさん話し合い、意見箱を設置。園全体からの意見を集約したりしながらホーム名を決めました。その結果、委員会メンバーで「雲のように美しい心になるように」という意味を込め「美雲ホーム」という名前に決定しました。(西中)

みくも(白)	雲のように美しい心になるように
あかつき(赤)	太陽の光りが広がるように無限に可能性を広げる
こもれび(緑)	一瞬の可能性を一筋の光りのようにみつけ出す
ひなた(オレンジ)	みんなに注目してもらえる、光り輝く存在になる
あおはる(青)	色んなことにつづりながら思いっきり自分らしく生きる
りぼし(紫)	宝石のように輝く、美しい子ども達を大切にしたい
なぎさ(水色)	失敗しても何度でもチャレンジするあきらめない心を持つ
りゅうせい(黄)	未来に向かって輝きながら前進する

【『里山収穫祭』 里山活動 10周年】

田島童園で里山活動を開始してから 10 年の節目として、里山活動で採れる作物を使用した収穫祭を全ホームで行ないました。子どもたちは、普段の里山活動で作物の苗植えや収穫などの作業を行なうことに加えて、自分たちのホームで提供するメニューを考えたり段ボールや牛乳パックを使用して屋台や看板を作成し、ホームごとに模擬店を開きました。屋台では、おでんやたこ焼き、焼きそば、豚汁、焼きいも、ポテトチップスを作り、お互いに振るまって食べました。



採れたて野菜をおいしくいただきました

みんなで美味しく料理を食べた後は、紙飛行機大会と陣取り合戦を行ないました。紙飛行機大会については子どもたちとこどもミーティングを行ないながら、ルールや司会、記録の仕方などについて計画し、開催しました。陣取り合戦はホーム対抗で行ない、子どもも職員も一緒になって里山を走り回りました。(庭瀬)



たこ焼きの模擬店



恒例の紙飛行機大会



陣取り合戦



【バーベキュー】

私が田島童園で働き 2 年が過ぎました。日々子ども達との関わりの中で地域の方々の温かいご支援を感じています。

昨年度は元生野区役所職員の清水さんのお力添えがあり、生野区の 6 社の企業さんのご支援で生野 BBQ スカイパークでバーベキューを行うことができました。

田島童園の運営理念「子どもの主体性を大切にします」に共感していただき、会議や下見に高校生も参加させていただきました。当日は、アックスヤマザキさんの子どもミシン体験・リゲッタさんのリゲッタ飛ばし、子どもたちの歌やダンスのお披露目で盛り上がりました。小学生の子どもたちは食事やお喋りを通して社員さんと交流しました。また、(株)コダマさん、(株)大都さん、(株)ノダさん、山本精工(株)さんの社長さんや社員さんに中高生は仕事について教えてもらい、小学生の子どもたちは食事やお喋りを通して社員さんと交流しました。これからもこのようなご縁を大切にしていきたいと思います。(福岡)



【夏休みの思い出】

日向ホームでは1泊2日で「摂津峡青少年キャンプ場」にいきました。幼稚園の子も年上の小学生を見てついていながら自分達でご飯の準備をしたりしていました。テントやロッジで初めて寝るため、緊張したり暑さもあったり、中々眠れませんでしたが良い経験となりました。

琉星ホームでは海水浴に行きました。初めて海で泳ぐ子がほとんどであり、海に入ることに怖がる子や嬉しそうに泳ぐ子など様子は様々でした。他ホームの子ども達も市民プールに行ったり、映画館に行ったり、暑い中でも夏を満喫していました。(小涼)



☀️【ソフトバレー大会】🌻

スポーツチームでは、児童福祉施設連盟のソフトバレーボール大会や駅伝・ロードレース大会、地域の球技大会・綱引き大会など、通年でスポーツ行事に参加しながら日々練習に励んでいます。ソフトバレーボール大会では優勝を目標に、公園での練習や週1回の体育館練習、ミーティングなどを重ね、チームとしてのまとまりを高めていきました。結果は惜しくも3位でしたが、



直向きに努力する事はもちろん、怪我をしたメンバーの分も頑張る意気込みで試合に臨む児童や、試合に出れず悔しい思いをしながらもコートの外から大きな声で応援することでチームを支えようとする児童など、チームで励まし支え合う事の大切さや思いやりの姿勢など、得られたものもたくさんありました。悔しさもバネに、次のスポーツ大会に向けて頑張ります！（西村）



《カカオズ》のとりくみ

「児童労働を助ける取り組みをしたい！」という思いを抱いた子どもの呟きから始まったカカオズの活動。活動内容は、園の子どもや職員から使わないものなどを集め、フリーマーケットをしたり、箕面のキューズモールで開催されている「まーぶハローワーク」に行きました。集まったお金でフェア



アートレードチョコレートを買い、コスタリカの子どもたちを助ける取り組みをしています。園内に「こんな取り組みをしています！」と伝えるためにポスターを書いたりもしました。（田淵）



カカオズとは、子どもたちの発信から始まったフェアトレードチョコレート等について調べる活動の事です。子どもたちは自分たちでフェアトレードや児童労働について調べ、話し合う等の活動を行っています。

（編集後記）

子どもたちのしたい事や日常での些細な会話から、子どもミーティングを通していろいろなことに挑戦する機会が多くあったように感じます。また、新しく美雲ホームが完成し、新生活がスタートしています。子どもたちの意見を組み込みながら自分たちのホームを作っています。

いつも皆様にはご支援いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

（井上）

